

會堂よりある勅抄河長、勅

火事未製造初具書業藝法取方と

義之行ある上申

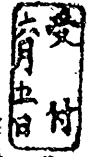
火事未製造初具書業藝法取方と
方義未製造初具書業藝法取方と
月日不越道取ある修業の業に
十出の持方と極極業法印の修業
歩法とある出中、歩方とある起極道
至急火事未製造初具書業藝法取方と
ある上申、行り也

會計の長

十二年乙未年 海軍上等海軍有馬純行

往入第一六八二號

百九十六



海軍省 檄 第 八 五 九 號

中將



六ノ七



本件ノ旨ニ即チ文島ノ道ニテ先立テ照會
ヲ為シ知悉ノ旨

上申之趣 聞届 往出 第 八 五 九 號

藏省へ及照會 候事

明治十三年六月十日

往出

卷第八五九號

大藏省、逓送、會案

當省十二年度火藥製法所興業費之内各
 年十二月より本年五月迄六月分月割り以て更付
 本成成有過投日係屬知事之審計より解りて廢
 方より省精算局より當省會計局へ再送照
 會之案古同考之趣依り先以金貳萬圓に爲
 以て更付の案より尚六月分の日借高より以て請求
 う成旨受申第二三點より四各之趣致し
 案より則て案より之通別紙傳票之旨案より出
 手首至急に渡す成公此各より及る案より也

十三年六月九日

海軍卿 榎本武揚

三頁七二號

大藏卿佐野常民殿

海引

1288

證

金七万貳百四

金三万三千六百九十四拾貳錢三厘

合金拾万三千八百九十四拾貳錢三厘之内

一金貳万圓

豫算決定額
追々増額之介

但十二年度興業費中火藥製造所新設費
十三年五月ヨリ十三年五月ヨリ六月分ニ當ル仕拂方及
見積リ員額

外

金七万三千六百九十四拾貳錢三厘

受取濟

右御渡可有之候也

三百六

六

一

五

明治三十年

海軍卿榎本武揚

大藏卿佐野常民殿

海軍省

1290